



白井市 男女共同参画 計画

(2026 ~ 2035)

こども版

男女共同参画社会とは…

性別にとらわれず、誰もが自分の個性を自由に発揮し、
活躍できる社会のこと。

「自分らしく」生きることをみんなで応援し、
より良い未来を一緒に創っていく社会を目指します。

令和8年3月
白井市



私たちのまわりの『当たり前』って、本当に当たり前？



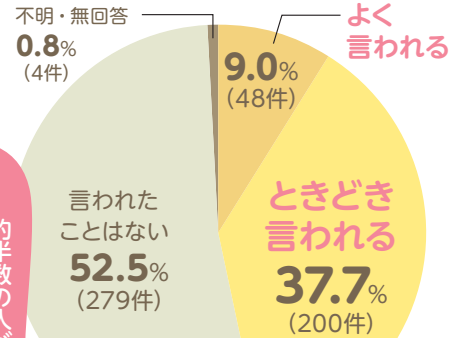
Q 『男だから』『女だから』ってホント？

『男の子なんだから泣かない!』『女の子なんだからもっとおしとやかに』なんてこと、言われたことないですか？ こうした性別を理由に「こうあるべき」という無意識の決めつけを、『アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）』といいます。



性別を理由に決めつけてしまうと、自分や友達の可能性をせばめてしまいます。その思い込みに気づけるようになると、もっと自由に、もっと自分らしく選べるようになります！

Q 今までに「女の子だから～しなさい（しちゃダメ）」「男の子だから～しなさい（しちゃダメ）」のように言われたことはありますか。(中学生調査)



「言われたことがある」と回答 約半数の人が

くわしくは、基本目標1へ！

Q 将来、どんな働き方がしたい？

将来、『仕事も、家のことも、自分の時間も、全部大事にしたい!』って思いますよね。でも現実では、女性は家事や育児を担うことが多い一方で、男性も「長時間働くことを求められる」「育児休業が取りにくい」など、性別によって行動が制限されてしまう場面があります。

この「仕事（ワーク）と生活（ライフ）の調和（バランス）」をとることを『ワーク・ライフ・バランス』と言います。性別に関係なく、誰もがこのバランスを大切にできる社会をつくりましょう！



Q 男性・女性が仕事をもつことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(中学生調査)

男性は「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」が最多。女性は「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が最多。

くわしくは、基本目標2へ！

Q それって「愛情」？ それとも「暴力」？

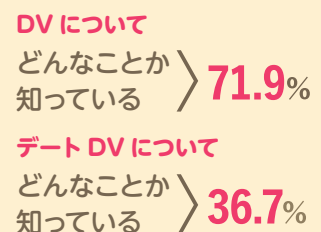
家族や恋人など、どんなに親しい相手でも、暴力をふるったり、心を傷つける言葉を言ったりするのは、絶対にいけないことです。これを『DV』や『ハラスメント』と言います。



こうした暴力は、大人だけの問題ではありません。若い人の間でも、恋人同士で起こる「デートDV」が問題になっています。相手を自分の思い通りに支配する行動も「DV」であり、気づかぬうちに加害者になっているかも。もしあなたが悩んでいたなら、絶対に一人で抱え込まず、誰かに相談してみてください。

Q あなたは、「DV」を知っていますか。

Q あなたは、「デートDV」を知っていますか。(中学生調査)



くわしくは、基本目標3へ！

2 ページのような課題を解決し、誰もが自分らしくイキイキと暮らせるまちになるため、白井市は新しい計画を作りました。

この計画が
目指す姿

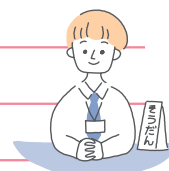
性別にとらわれず、 誰もが尊重され、 自己実現ができる白井市

- 「男だから、女だから」は関係ない！
 - 一人ひとりの個性や権利が大切にされる！
 - 自分の『なりたい!』『やりたい!』がかなえられる！
- そんなまちを目指しています。

「白井市男女共同参画計画（2026～2035）」では、目指す姿を実現するために、3つの目標をたてて、市がやるべきことを定めています。

基本目標 1 誰もがその人らしさを尊重できる環境づくり

主な取り組み	意識を変える	誰もがお互いの個性を認め合える社会に向けて、情報発信や講座を開催します。
	人権を守る	悩みを相談できる場所を整備します。
	いざという時に備える	災害が起きても、誰もが安心して避難できる場所をつくります。
	なりたい自分になれる	性別に関係なく、勉強や職業を自由に選べる環境をつくります。



基本目標 2 性別にとらわれず活躍できる環境づくり

主な取り組み	多様な働き方を応援	仕事と、家事や育児、趣味といったプライベートな時間のどちらも大切にできるよう支援します。
	チャレンジを応援	性別にとらわれず仕事を続けたり昇進したりできる職場をつくります。また、妊娠・出産を経て「もう一度働きたい」という女性を支援します。
	意見を届ける	地域での活動や市の計画などを決めるとき、もっと女性の意見を取り入れたり、参加しやすくなるよう支援します。



基本目標 3 誰もが安心して暮らせる環境づくり

主な取り組み	暴力をなくす	DVや暴力をなくすための情報発信や、相談しやすい体制をつくります。
	困難な状況にある人を支える	いろいろな事情で困っている人を、みんなで支える仕組みをつくります。

みんなにできること・考えてほしいこと

考えて
みよう

- 周りにある「男だから」「女だから」という決めつけを探してみよう。
- 友達との会話で、誰かを傷つける言葉を使っていないか、振り返ってみよう。



アクション
を起こそう

- 家のお手伝い、家族みんなで分担できているか話してみよう。
- 困っている友達がいたら、話を聞いてあげよう。そして、ためらわずに相談しよう。

もしも、ひとりで悩んでいたら…

主な相談先

家族・学校・友達のことなどで悩んでいたら相談してください。

- **白井市家庭児童相談室**
(保健福祉センター3階 子育て支援課内)

相談時間：平日9時30分～16時30分(祝日・年末年始は除く)
電話：047-497-3477(直通)



- **親子のための相談LINE(こども家庭庁)**

受付曜日：毎日(年末年始(12月29日～1月3日)除く)
※右の二次元コードから、LINE公式アカウント
「親子のための相談LINE」を友だち追加してください。



「これって虐待かも…」と思った時に相談してください。

- **千葉県印旛児童相談所**
電話：0476-94-7500
- **児童相談所全国共通ダイヤル 189(いちはやく)**
電話：189(24時間365日対応) ※緊急の時は、まよわず警察(110)へ。

白井市男女共同参画計画(2026～2035)【こども版】
令和8年3月

発行：白井市 市民環境経済部 市民活動支援課
〒270-1492 千葉県白井市復1123
TEL：047-492-1111